

小島龍太郎 きじま ひゆたろう フランス入學者、官僚。嘉永二年十一月二十七日
江戸生れ、大正二年一月五日歿（八四一―九三）。生家は土佐の富商。
維新後長崎の平井義十郎のフランス入學を助ぐ。のち大分縣を改切りと
明治二十二年農商務省、翌年臨時帝國議會事務局、次でついで衆議院の各書
記官と歷任し、二十八年頃退官。また中江兆民、西園寺八重王、酒井雄
二郎等と友人あり、二十五年酒井等と社會問題研究會を興す。二十
六年幸徳秋水、堺利彦等の「平民新聞」創刊を支援し、その後の秋水
の渡米や、雑誌「自由思想」發刊にも助勢。また二十七年の「平民新
聞」發禁の因となつた翻譯「共產黨宣言」の原本提供者といふ。
譯書、ソコラーヌ著「國民法提要（第一）」（明治十二年二月司法省
藏版）等。